

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力 【思考力・判断力・表現力】 【主体性】 【自らへの自信】

「速さ」～駅伝練習のタイムを求めよう～

【単元の概要】

最高学年として駅伝の練習をリードする子供たちに、世羅高等学校の陸上競技部の生徒の記録として、走った距離は示さずタイムのみを紹介しします。自分たちと同じくらいのタイムだが、同じ速さなのかと課題をもたせ、「速さ」について考えようという意欲をもたせませす。単元の終盤では、全校で駅伝の練習に取り組むという実際の場面から、1年生と6年生のゴールのタイミングを同じようにするためにはどうしたらよいかという問題を見だし、これまでの学習を生かして解決していきます。また、「速さ」について学習した後、駅伝の練習の中で、目標タイムだけでなく、目標の速さを設定して、実際の自分の記録から速さを確かめたり、駅伝大会で新記録を出すためには一人がどれくらいの速さで走ると良いか考えさせたりしていきます。

◆単元の目標

速さについて理解するとともに、単位量あたりの大きさの考えを用いて、速さを比べたり、速さや道のり、時間を求めたりすることができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

・日常的に行っている駅伝の練習を想定した具体的数値の入っていない問題「駅伝練習」を解決するために必要なことは何かを考えることで、「速さ」の学習への意欲と見通しをもつ。

【情報の収集、整理・分析（4時間）】

・「速さ」は単位量あたりの大きさの考えを用いて表せることを理解し、「速さ」の表し方への興味を広げる。
・「速さ」、「道のり」を求める公式を理解し、それを適用して、「速さ」、「道のり」を求める。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

・「速さ」と「道のり」から「時間」を求める方法を考えて、説明する。

【情報の収集、整理・分析（3時間）】

・時間が分数で表されたときの、「速さ」の問題を考える。
・「速さ」が一定のとき、「道のり」と「時間」が比例の関係にあることを理解する。
・単位量あたりの大きさの考えを用いて、コピー機などの作業の速さの比べ方を考えて、説明する。

【まとめ、創造・表現（2時間）】

・全校での駅伝の練習を行う際、1年生と6年生のゴールが同じになるようにするためにはどうしたらよいか、「知識構成型ジグソー法」を用いて、これまで学習したことを活用し、友達と協働しながら問題を解決する。

【まとめ、振り返り（1時間）】

・まとめの問題に取り組むことで、学習内容の定着を図る。

【実行（特別活動）】

・駅伝大会で新記録を出すために、一人ずつの速さを求め、そこから目標タイムを出し、練習に取り組む。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	ひきざん
	2	九九をつくろう
	3	円と球
	4	広さを調べよう～せらにし小学校の校舎の面積は？～
	5	図形の角を調べよう
	5	整数の性質を調べよう～リズム打ちの回数を調べて練習しよう～
	6	比と比の値～ソフトボール投げのラインをかくには？～
総合的な学習の時間	3	ふれあいネットワーク～元気いっぱいどけ隊～
	5	元気な世羅を伝えよう～せらにしのおいしさたっぷりみそ汁を作ろう～

せらにし小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.town.sera.hiroshima.jp/seranishi-es/index.htm>